



## 第3期生が巣立つ「第3回卒業証書授与式」

### 幕別町百年記念ホールで証書授与

3月1日午前10時から「第3回卒業証書授与式」が幕別町百年記念ホールで行われました。令和3年4月に入学した第3期生が、保護者、来賓、教職員の拍手に迎えられ入場。各クラス担任が卒業生を呼名し、学校長が各クラスの代表者に卒業証書を授与しました。

賞状授与では、「考・拓・愛」を掲げる本校スクールミッションの顕著な実践と社会的評価と功績を讃えた「翡翠(カワセミ)賞」が櫻井遥貴さん、西岡優希さんに授与されました。続いて、学校長から式辞があり、この後、在校生代表の川内路輝さんが「これまで築かれてきた先輩方の功績を受け継ぎ、私たち在校生は地域に愛される学校づくりを目指し努力していきます。」と卒業生へ言葉を送りました。

最後に、卒業生代表の飛谷百香さんが「清陵高校で学んだことや後輩の皆さんと学校生活の思い出を大切に、幸せな大人に一步一步近づけるよう努力を続けていきます。」と答辞を述べ、厳粛な中にも温かみのある卒業式となりました。その後は、各クラスで「最後のホームルーム」を行い、クラスが一体となってお互いの卒業を喜び合いました。コロナ禍で学校生活の多くの場面でさまざまな制限を余儀なくされながらも、卒業生たちは、仲間との多くの想いが詰まった高校生活から巣立ち、新しい一歩を踏み出しました。



## 【進学】国公立大学3名 看護学校4名が合格 【就職】就職活動に手ごたえ 全員内定を果たす

本校3期生となる3年生の進路が決定しています。進学では、国公立「北見工業大学」、「旭川市立大学」、「北海道教育大学釧路校」に合格し、他にも私立大学や看護学校、専門学校などに進学を決めています。また、就職も全員が内定を果たしました。

### 【進学決定状況】

- 【国公立大学】 北見工業大学、旭川市立大学、北海道教育大学釧路校
- 【私立大学】 日本大学、北海学園大学(1部・2部)、北海商科大学、札幌学院大学、北海道科学大学 他5校
- 【私立短大】 帯広大谷短期大学、北海道武蔵女子短期大学
- 【看護学校】 帯広市医師会看護専門学校、釧路労災看護専門学校、おだわら看護専門学校
- 【専修・各種学校】 北海道ハイテクノロジー専門学校、北海道農業協同組合学校、日本工学院北海道専門学校、帯広コア専門学校、北海道立帯広高等技術専門学校、帯広調理師専門学校 他17校

### 【就職決定状況】

- 【公務員】 北海道警察、とちかち広域消防事務組合、自衛隊一般曹候補生
- 【民間企業】 株式会社柳月、株式会社観月苑、株式会社共成レンテム、株式会社福原、兼松コミュニケーションズ株式会社、カルビー株式会社、株式会社第一ホテル、株式会社ニッタクス、新日本海フェリー株式会社、北海道エネルギー株式会社、イオン北海道、JR北海道ホテルズ株式会社 ホテル日航ノースランド帯広、株式会社ジョイフルエーカー、山九株式会社 他12社



## 進学特別講座「さくら組」進学対策を支える講座

国公立大学や看護学校の合格を果たした1期生から3期生に続く潜在能力を秘めた生徒達が本校には多くいます。生徒たちの進路実現をより強化するために、進学特別講座「さくら組」が春から始動しています。1・2年生を対象としたこの講座には、自主性と意欲の高い30名の生徒が、連日熱心に受講しています。各々の生徒の夢をサポートするために、学校は全面バックアップ体制をとっています。

## 広島県の高校生が本校へ「高校生E・C・S交流事業」



1月31日～2月3日、本校と連携しているNPO法人幕別札幌内スポーツクラブ様が、広島県北広島町にある(一財)どんぐり財団様、(一社)芸北道場様と企画による地元高校との連携事業「E・C・S交流事業」が行われました。昨秋、同事業で本校生徒8名が広島県を訪問しましたが、今回は、広島県立千代田高等学校、広島県立加計高等学校芸北分校の生徒と引率者合わせて18名が本校を訪れました。

### 本校生徒がおもてなし 極寒の北海道を満喫

冬の北海道を満喫してもらおうと、期間中は幕別札幌内スポーツクラブ様と本校生徒が歓迎プログラムを実施しました。1日目は、広島県から空路で到着後帯広市内を見学。2日目は、本校生徒による歓迎セレモニーと授業交流。3日目は、授業体験とウィンタースポーツ体験。最終日は、本校生徒会役員が一行を帯広空港まで見送り、「北海道、楽しかった」「まだ居たい」「また会おうね」と互いに築いた絆を確かめました。短期間でしたが他県の高校生と繋がれる有意義な交流事業となりました。



十勝オーバルでスケート体験



屋外でカーリング体験



本校名物「百人一首」を楽しむ



十勝川温泉「彩凜華」で極寒体験



昼食はみんなで「豚丼」



本校校門前で記念撮影

## 本校生と地域の「地域連携マイプロジェクト」活動中

本校の「総合的な探究の時間」ではSDGsをテーマに学習しています。その授業の一環で企画されたのが「地域連携マイプロジェクト」です。地域の事業主の方々と高校生が取り組む12のプロジェクトが進行中です。

### 木工・建築・農業+福祉プロジェクト



### Hasicoデザインプロジェクト



### 高齢者の居場所づくりプロジェクト



#### ～ 主なプロジェクト内容 ～

- ★とちかち食材の直送・直売ビジネス実体験
- ★地域をデザインする
- ★とちかちごちゃまぜアート展
- ★高齢者の居場所づくり
- ★幕別サテライトの誘致・活性化
- ★農業プロジェクト
- ★Hasicoデザインプロジェクト
- ★スタートアップのための店舗づくり
- ～木エプロダクト開発
- ★大人も子どももみんな笑顔になあれ
- ★ロボット作りで覚えるプログラム
- ★建設の世界を覗いてみよう
- ★農業&福祉の融合～商品開発

# 2023年度幕別清陵高校ダイジェスト

## 陸上部4名が全国大会へ出場 女子円盤投・ハンマー投・砲丸投で全道優勝

6月13日～16日、第76回北海道高校陸上競技選手権大会兼秩父宮賜杯第76回全国高校陸上競技対校選手権大会北海道予選会(札幌市厚別公園競技場)が行われ、本校陸上部4名が投てき種目で上位に入賞し、全国大会への出場を果たしました。4名が揃ってのインターハイ参加は、創部4年目にして初の快挙となりました。

女子ハンマー投優勝 西岡優希さん(3年) 男子ハンマー投準優勝 方川寛翔さん(2年)  
女子円盤投・女子砲丸投 優勝川村羽海さん(2年) 女子ハンマー投3位 澤向美樹さん(2年)



## 学校対抗女子フィールドでも初制覇 強豪校に1点差で優勝を勝ち取る

陸上の団体戦とも言える「学校対抗女子フィールド」で本校が初の栄冠を獲得しました。ハンマー投げ優勝、3位、円盤投げ優勝、砲丸投げ優勝、4位、8位に入賞したことで、強豪校の立命館慶祥高校を1点上回り、フィールド優勝カップを初めて手にしました。



## インターハイ 女子ハンマー投 全国5位・7位入賞

8月2日～6日、「全国高校総体2023(インターハイ)札幌市」に本校陸上部から4名が出場しました。結果は、女子ハンマー投げにおいて、澤向美樹さん(2年)が5位、西岡優希さん(3年)が7位、全国大会での同種目2人入賞の快挙を成し遂げました。澤向さんは中学校時代は走り高跳びの選手で、高校から投擲を始めました。西岡さんは、1年生で2度の膝の手術を乗り越えての入賞です。

☆澤向美樹 2年 ハンマー投げ 5位(49m52) ☆西岡優希 3年 ハンマー投げ 7位(49m46)



## U20日本選手権 女子円盤投で銀メダル

6月1日～4日、第39回U20日本選手権大会(大阪市のヤンマースタジアム長居)において、川村羽海さん(2年)が女子円盤投で準優勝(自己ベストの42m31)に輝き、大学生を含むこの大会で高校勢として全国トップの記録を残しました

## 清陵高 情報リテラシー標語が道総通局長賞を受賞

2023年度の「情報通信の安心安全な利用のための標語」の受賞作品が発表され、授業で取り組み募集した標語作品「ネットでは クリック1つも 命取り」が北海道総合通信局長賞に選ばれました。青少年の情報通信リテラシーの向上に取り組む「情報通信における安心安全推進協議会」の主催で、スマートフォンやネットなど、情報通信を利用するためのルールやマナーを考えるきっかけにすることが目的です。今年度は全国から学校部門168点、個人部門1万6976点の応募がありました。6月1日に札幌で行われた表彰式に校長が出席し、15日に標語の作者である比良野萌珈さん(2年)に受賞を報告しました。



## 夏の野球十勝地区予選で全校応援を実施

6月26日、帯広の森野球場で、高野連十勝支部予選1回戦が行われ、本校・池田・広尾高校連合チームが帯広北高校と対戦しました。本校野球部員は4名がメンバーで出場。球場スタンドでは本校と池田高校が合同で全校応援を行いました。両校の吹奏楽部が臨時応援団を編成し、全校生徒がメガホンを持って熱い声援を送りました。試合は敗退したものの、選手たちの一生懸命なプレーに、最後まで生徒全員が一丸となって応援する姿がありました。



## 進化続ける 第3回清陵祭を開催

7月8日～9日の2日間日程で、第3回清陵祭を開催しました。両日とも気温が30度近くまで上がる夏模様の天気のもとで行われました。高校生や地域の方に楽しんでもらうことを考え、生徒会の生徒が夜遅くまで準備を進めていた企画や、今年度に新しくできた部門「映画祭」(各クラスの映像作品)にも挑戦し、最後は恒例の花火が夜空に舞い上がり、祭りは大盛況に終わりました。



## 2年目「広島県高校生E・S・C交流事業」を実施

### 全国でも珍しい地域企業主導による他県との交流事業



広島県高校生E・C・S交流事業日程  
24日 帯広⇒広島市(移動日)  
25日 広島市の文化・遺産 見学研修  
26日 広島県立千代田高校訪問・交流  
27日 県立加計高校芸北分校訪問・交流  
加計高校訪問、広島経済大学見学  
28日 広島市⇒帯広(移動日)

9月24日から5日間の日程で、幕別清陵高等学校包括連携事業「幕別札内スポーツクラブ(幕別町)」と「どんぐり財団(広島県)」主催による「高校生E・C・S交流事業」が行われました。本事業は昨年度から始まり、2年目となる今年度も本校生徒代表8名が現地に出向き、広島県の公立高校や関連施設、文化遺産を訪れました。

## ハロウィン企画「HAPPY HALLOWEEN」を開催 生徒が発案・実施 清陵高オリジナル・イベント

本校では、毎年この時期、他の学校にはない「ハロウィン・イベント」を行っています。「自分たちが学校生活を豊かにしよう」という想いで生徒が発案したイベントの一つです。この日は仮装して学校の授業を受けられる特別な1日となります。仮装は、当日校内のみという自主ルールで行われ、各々が工夫を凝らした衣装でハロウィンの雰囲気を楽しんでいました。仮装をしながら真面目に授業を受ける生徒の姿はなかなかユニークでした。



## 'Trick or treat!'お菓子を集めて地域の子どもたちへ

校内にはお菓子募金箱が設置され、持ち寄ったお菓子を集めて地域の小学生に届けます。このイベントのもう一つの目的です。自分たちが楽しみながら地域の子どもたちにも喜んでもらおうと企画した、清陵高校ならではのイベントです。

## 初の全国大会へ軽音楽部全道準グランプリ

### 12月全国大会(東京都)の北海道代表に

9月23日に札幌市で開かれた「第3回全国高校軽音楽部大会we are SNEAKER AGES」の地区グランプリ大会で、幕別清陵高校軽音楽部の2年生チームが準グランプリに輝き、初の全国大会出場を勝ち取りました。大会は、リズムやボーカルの歌唱力の他に、表情やパフォーマンス、振り付けなどチーム全体の総合的な完成度で審査されます。本番では、観客に楽曲の振り付けを一緒にしてもらおうパフォーマンスも行い、優勝校とわずか1ポイントの僅差で準グランプリに輝きました。全国大会は12月26日に東京ドームシティホールで、全国の地区予選を勝ち抜いた19校が出場しました。



## 地域活動に貢献 各種ボランティアにスタッフで参加

今年度も地域のイベントや奉仕活動に、本校生徒がスタッフとして地域貢献活動に積極的に関わりました。

### 毎月のこども食堂でボランティア活動

こども食堂には年間を通じてボランティアに参加しています。昼食の準備からお手伝いをし、「美味しそう、食べたいと思えるお弁当」になるような彩りや盛り付けの方法を考えながら食事を用意しました。子どもたちとレクリエーション活動や食事をしながら一緒に過ごす時間を大切にしています。



### 地域イベントにスタッフ参加

「国内小学生派遣交流事業」スタッフ(8月3日・9日、幕別町内各所)  
「幕別子ども会祭」サポートスタッフ(9月3日、幕別町百年記念ホール)  
「ピラ・リの森フェスタ」ボランティアスタッフ(10月22日、明野ヶ丘公園)  
「2024マクベツ ツナグ ランタン」スタッフ(2月24日、明野ヶ丘公園・幕別パークプラザ)

